

5月3日の新聞に意見広告を！

# 9条の精神に立ちかえり、 核のない社会を実現しよう！

東日本大震災と福島第1原発事故は、私たちの暮らしを根底から大きく揺るがしました。その傷跡が癒えない中、私たちは、依然としてさまざまな形で放射能の脅威にさらされています。一方、電力会社をはじめ政財界、官僚、一部の識人は過去に何の反省もなく、止まった原発の再稼働をもくろんで動いています。

私たちは、世界中の圧倒的多数の人びとと共に、エネルギー源としても軍事力としても原子力に頼らない、核の脅威から自由な社会、核のない社会を実現したいと思います。

国会では、再発した憲法審査会で、災害を口実にした「非常事態宣言」条項を憲法に盛り込むため、憲法改定をしやすいようにという議論が始まっています。あわせて憲法第9条もなくそうという意図は明白です。

非武装・非戦を定めた憲法第9条の精神に立ちかえり、その実現を求める私たちは、そうした憲法改定の動きに強く反対します。

私たちの考えに共鳴される方は、その意思を新聞の意見広告で表明するために、ぜひ賛同金をお寄せ下さい。さまざまな事情で集会やデモに参加できない方々も、多くの人びとと一緒にできる運動です。

皆さんの賛同金により、2012年5月3日、憲法記念日の全国紙に広告の形で掲載します。実際の意見広告の文面は、その後の政治状況にあわせて確定します。

市民意見広告運動 市民の意見30の会・東京



## 事務局・連絡先

〒151 - 0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4 - 29 - 12 - 305

Tel・Fax 03 - 3423 - 0185, 03 - 3423 - 0266

Eメールアドレス：info@ikenkoukoku.jp

ホームページ：http://www.ikenkoukoku.jp

\*電話は13時～17時（月～土）・17時～19時（日）に  
お願いします。

●点字のチラシもありますので、ご請求下さい。

●この運動は、いかなる政党・政治団体にも属さない市民運動です。

## <私たちはさらに、次のように訴えます>

### ① 原発依存の政策・経済構造・生活スタイルからの脱却

- ・自然エネルギー開発を中心においたエネルギー政策への基本的転換。
- ・いかなる原発の再稼働にも反対、すべての原発を廃炉へ。
- ・資源と予算の浪費である核燃料の再処理、リサイクルを即時中止する。
- ・核廃棄物の輸出、海洋への投棄に反対。
- ・すべての電力会社の発送電分離と経理の公開。
- ・電力会社・他の政府機関から独立した原子力監督機関の設立。いわゆる「原子力村」の解体。
- ・エネルギー多消費型システム、生活スタイルを改めよう。

### ② 福島第1原発事故は終わっていない

- ・福島第1原発事故による汚染は続いており、事態は収束していない。
- ・すべての自主避難者を含む原発事故の全被害者、被曝労働者への完全補償。子ども、妊婦を優先した健康診断と健康管理を保障すること。
- ・汚染地域の全情報の公開。

### ③ 非核世界をめざそう

- ・核と人類は共存できないという現実を確認しよう。核ミサイルから劣化ウラン弾まで、あらゆる核兵器は非人道的である。大国による核開発の独占にも、多くの国々への核の拡散にも反対する。
- ・核燃料再処理の過程で発生するプルトニウム所有により、核武装への道を開くことに反対。非核三原則のなし崩し的空洞化に反対。日本の核技術・核施設の輸出に反対。

### ④ 日米安保条約の解消と新しい安全保障の仕組みを

- ・61年前、日本国憲法を無視して締結された軍事条約である日米安保条約を、これ以上存続させてはならない。米国との間には、対等な平和友好条約を結ぼう。
- ・沖縄だけでなく、全国の米軍基地は「移設」ではなく撤去を。
- ・米国の世界戦略のお先棒を担ぐのではなく、中国、北朝鮮、韓国、台湾、フィリッピンなどを含めた安全保障の新しい枠組みをつくるための外交を求めよう。

### ⑤ 非武装・不戦の憲法9条を実現しよう

- ・平和的生存権を明記した憲法前文と9条は「絵に描いた餅」ではなく、強い意思の裏づけがあれば強力に現実的な効力を発揮できることを確認しよう。領土・領海問題をはじめ、あらゆる外交問題は、武力によっては解決できない。非武装の国に海を越えて軍隊を送り侵略する国が現われると考えるのは非現実的である。
- ・日本列島住民の非武装への意思表示は、世界の緊張緩和に大きく貢献するだろう。

### ⑥ 自衛隊の縮小・解体と軍事予算の廃止

- ・自衛隊法を改正し、災害救助を任務とする平和組織をつくる。戦争を前提としたF 35 ジェット戦闘機、弾道/迎撃ミサイル、イージス艦など、すべての最新兵器の購入・生産・配置をやめる。
- ・南スーダン、ジブチ、西日本離島（与那国島など）への自衛隊派遣・配備を中止する。
- ・在日米軍への「思いやり予算」を廃止する。



## 私たちも意見広告運動に賛同します

石川逸子（詩人）  
石川文洋（報道写真家）  
色川大吉（歴史家）  
上野千鶴子（社会学者）  
大石芳野（写真家）  
奥平康弘（憲法学者・九条の会）  
小山内美江子（脚本家）  
加藤登紀子（歌手）  
鎌田 慧（ルポライター）  
小林亜星（作曲家）  
ジェームス三木（脚本家）  
平良 修（牧師・沖繩）  
田中優子（大学教授）  
堤 未果（ジャーナリスト）

中山千夏（作家）  
永 愛（劇作家・演出家）  
西尾市郎（平和をつくる琉球弧活動センター）  
樋口陽一（憲法学者）  
ピーター バラカン（ブロードキャスター）  
松浦悟郎（カトリック司教）  
山口幸夫（原子力資料情報室共同代表）  
湯川れい子（音楽評論家・作詞家）  
  
赤とんぼの会  
関西共同行動  
草の根意見広告の会  
声なき声の会  
市民の意見 30・関西

人権平和・浜松  
たんぽぽ舎  
第九条の会ヒロシマ  
東京都公立学校教職員組合  
日本カトリック正義と平和協議会  
日本山妙法寺  
反安保実行委員会  
「反改憲」運動通信  
反天皇制運動連絡会  
被爆二世の会  
ピース9の会  
ピープルズプラン研究所  
不戦へのネットワーク  
ほっかいどうピースネット

### 広告掲載は5月3日（憲法記念日）賛同金は4月12日必着です。

#### 賛同金と期限

賛同金は、個人 一口1,000円  
団体 一口2,000円

期限は、4月12日必着でお願いします。

#### 賛同金の送り方

このチラシの振り替え用紙に必要事項を記入し、郵便局から送金してください。

#### 掲載広告で訴える内容

非武装不戦の憲法を変えることに反対し、核の脅威から自由な社会を実現すること。

#### 意見広告運動は誰でも参加できます

賛同者になってください。周りの人にも勧めてください。チラシは無料で何枚でもお送りします。

#### 広告の掲載紙

全国紙一紙と地方紙一紙への掲載をめざします。

#### 広告掲載紙を事前に知りたい方へ

掲載予定紙は、5月1日にホームページでお知らせします。4月20日までに返信先記入の往復ハガキをお送り頂いた方には、予定紙をご連絡します。

#### （ご注意）

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書をゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙  
3万円以上  
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。